

共愛学園前橋国際大学

共愛 COCO

第2回藤原地区合宿報告書

2015年9月5日(土)～6日(日)



～目次～

1. 概要

2. スケジュール

3. 持ち物

4. 記録

5. 個人感想

6. 会計

7. 頂きもの報告

8. ギャラリー

1. 概要

◆第2回藤原合宿目的

1. 伝統行事の準備と当日の見学で地域文化を理解しながら住民との交流を深める。
2. 2回目の戸別訪問によりまだ接していない住民と交流し、新しい輪を集落全体まで広げる。
3. 秋以降を想定したこの地で実現可能な仕組みづくりプランを立てる

◆期間：2015年9月5日（土）～6日（日）、4日（金）日帰りで行き合わせ

◆宿泊場所：

- 民宿 吉野屋 〒379-1721 群馬県利根郡みなかみ町藤原 3737
- 去来荘 〒379-1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原 684

◆参加者：

小野僚大（英4）、古井戸進（英4）、五十嵐由衣（国2）
井野明日香（国2）、大森正也（心2）、加藤七彩（国2）



2. スケジュール

9月4日(金) ※日帰りの打ち合わせ

時間	内容	説明
10:00	伊勢崎出発・・・①	<p>① レンタカーを借りる。後閑駅にて小野と合流し4年生2人でみなかみへ。総合政策課の大川さんとお話の後、林昇さんと合宿の打ち合わせ。</p> <p>② ビジョンの策定委員の活動から見えてきたみなかみの実態と今後の課題について伺う。</p> <p>③ 昇さんの紹介のもと、おいで祭り実行委員会の皆様と顔合わせする。</p>
10:15	駒形 IC	
00	月夜野 IC	
11:15	水上温泉街散策	
12:15	昼食@おおぎやラーメン	
13:00	大川さんと面会・・・②	
15:00	実行委員の顔合わせ・・・③	
16:00	おいで祭りの準備	
18:00	昭和 IC	
18:45	前橋 IC、帰途	



9月5日(土)

時間	内容	説明
7:00	前橋出発・・・①	<p>① 赤城高原SAにて小野と合流、大森は別車で現地に向かう。</p> <p>② 6日、諏訪神社にて開催予定の藤原の獅子舞の会場準備とリハーサル見学</p> <p>③ 8月の合宿の際に訪問できなかったお宅へ取材。平出集落のニーズや生活の実態を探る。</p> <p>④&④' おいで祭り後、古井戸と加藤は活動が別なので昇さんが取ってくれた宿に泊まる。</p> <p>⑤ 藤原地区周辺での活動とそれに対して学生ができることは何か伺う。</p> <p>⑥ 今日のまとめと明日の確認、手紙の作成</p>
7:15	前橋IC	
8:00	みなかみIC	
9:15	藤原の獅子舞の前日準備・・・②	
12:15	昼食@らーめん武尊	
14:00	平出集落戸別訪問・・・③	
18:00	民宿吉野家チェックイン・・・④	
19:50	去来荘チェックイン・・・④'	
20:45	おいで祭り参加	
21:50	入浴	
22:00	おいで祭り実行委員会の交流会	
22:30	かずゆきさんとお話し・・・⑤	
24:00	ミーティング・・・⑥	
25:30	就寝	

9月6日(日)

時間	内容	説明
6:00	起床	<p>① 各宿泊先でチェックアウトし、メンバー全員が合流</p> <p>② 初日にお世話になった方たちへ感謝のお手紙を届ける。「また来るね」を約束。</p> <p>③ 沼田市にて沼須ネギを生産している星野さんの畑を見学しながら詳しい説明を聞く。</p>
7:00	朝食	
9:30	チェックアウト・・・①	
10:00	藤原地区獅子舞	
12:45	お手紙を届ける・・・②	
13:15	集落出発	
13:45	みなかみ IC	
14:10	沼田 IC	
14:30	農業勉強会・・・③	
16:00	昭和 IC	
16:50	前橋 IC	
17:15	解散	



3. 持ち物

学生証・身分証明書・保険証	お金（概算 5,000 円）
着替え（1泊2日分）	汚れてもいい服
軍手	履き替え用シューズ
泉極志Tシャツ	筆記用具
カーディガン等の羽織るもの	ノート
下着類・靴下	時計
ハンカチ・ティッシュ	洗面用具
雨具	タオル
名札	お手紙セット

～あると便利なもの～

日焼け止め	帽子
虫よけスプレー	常備薬
カメラ	ポータブル充電器
軽食	懐中電灯
目覚まし時計	スケッチブック
たこ足コンセント	バスタオル（民宿は有料）

※季節の変わり目なので気温に適した服装を用意しました。

※外にいることが多いので、虫に刺されないようにしました。

※天候が変わりやすいので体調管理に気を配りました。

4. 記録

◆9月5日

午前中は諏訪神社で前日の準備のお手伝いをしました。

藤原地区の男性陣は、時間がかかりそうな舞台の設営を声を掛け合いながら素早くやっていたのが印象的でした。



設営後は次の日に舞を振るチームがリハーサルを行っていました。衣装の着方や立ち位置まで細部に至るまでチェックをして次の日の準備をしていました。

今年は中区の担当で、子供から大人までが舞台に立ちます。来年は平出のある下区の担当で3年に1度回ってくることになっています。

午後は戸別訪問をして、集落の人との交流をしました。どのお宅もお邪魔した際にはお菓子や飲み物などを出してくださり、人の温かさを感じました。



(明男さん宅にて)

明男さんからは藤原の歴史についての資料を頂き、過去に取材を受けていたNHKのテレビを一緒に観ました。



夜は「おいで祭り」に参加しました。有志で行われているというこのお祭りは今回で9回目の開催となります。みなかみ町が合併してから始まりましたが1度は開催されなかった年があったそうで、10周年であるのに9回目の開催になるのはそのためです。みなかみ町の熱い想いをを持った人達の力で復活させたこの伝統行事、今回お世話になった林昇さんも復活させた1人で実行委員会の中心人物です。



「おいでや、おいで♪」の掛け声をかけながら通りを歩く参加者。

周りにいる人も思わず手を叩く。



ステージでは子供が太鼓をたたいて音頭をとっています。初日は踊り、2日目は神輿のプログラムでこの場所を中心に様々な企画が用意されていました。

夜は古井戸と加藤の2人で実行委員会の皆様の交流会にお邪魔して、楽しみました！
それぞれの熱い思いや人との繋がりや強さ、地域の魅力について教えてもらいました。

◆9月6日

朝から諏訪神社にて「藤原の獅子舞」の見学。毎年お盆の時期だが今年は9月のこの時期となりました。帰省する人も少なく、お祭りとも被るのでいつもよりヒトは少し少なめです。

前日に練習していた方達は、澄んだ空気の中に響く笛の音色に合わせて舞を振ります。獅子舞は4部構成になっており、舞台の合間では地元の小・中学生による余興や演歌歌手のショーなどが会場を沸かせていました。



地元の小・中学生は「みなカミング体操」を踊ります。手前では8月の区民祭でお会いした加藤先生が誰よりも大きく体を動かして踊っていました。

この時、校長・教頭先生とお会いし、学校教育について、地元民の強さについて教えていただき、11月20日に予定されている「収穫祭」の参加を約束しました。

